

研究実施状況報告書

平成31年 2月 22日

長崎県立大学長 様

研究責任者 所 属 看護栄養学部看護学科

職 名 教授

氏 名 久佐賀眞理



受付番号 333	承認番号 321
I 課 題 保健師業務における地区活動の現状と課題	
II 研究期間及び調査期間 研究期間 29年 8月 22日 ～ 31年 3月 31日 調査期間 29年 8月 22日 ～ 30年 10月 31日	
III 研究の実施状況（該当項目にチェックしてください） <input type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究が終了した（公表方法： ） <input type="checkbox"/> 研究計画書どおり研究を実施した <input checked="" type="checkbox"/> 研究計画を変更して研究を実施した 変更審査申請書提出（ 済 ・ 未 <input checked="" type="checkbox"/> ） 変更内容：調査時期、対象県の一部削除、全体の研究期間の短縮（3年予定→2年） 変更理由：平成30年7月の西日本豪雨災害のため調査開始を2か月ずらし、対象も被災県（広島・岡山・愛媛）を外した。責任者の退職に伴い科研の期間を1年短縮する。	
IV 今後の研究の概要（研究が継続の場合）	
V 研究結果の概要（研究が終了の場合） 1. 対象自治体1671、有効回収数451、回収率27%（内、合併自治体が37%）、自治体区分や所在地はほぼ実際の割合と同様であった。 2. 保健師数の平均は世紀18.5、非正規（2.2人）、統括保健師を47%が有していた。 3. 地区活動体制は、地区担当制13.4%、業務担当制25.6%、重層型61%であった。 4. 現体制に至った理由は、①保健師数、業務の効率性、③歴代保健師の方針 ④人口規模・偏在であった。 全体で29項目に及ぶ質問を実施し、保険師配置、保健活動体制、地区活動推進の工夫などを明らか	

